

**美濃加茂市×名城大学都市情報学部
学生主体の地域連携型教育プログラムの市長報告会開催
～「あなたが考える美濃加茂市 理想の駅まちづくり*」を市長に～**

名城大学都市情報学部と岐阜県美濃加茂市は、これからの理想的なまちづくりの追求と実現を目指して締結した地域連携協定に基づき、学生主体の地域連携実践型教育プログラムを 2019 年度からスタート。2021 年度で 3 回目の開催です。

■本プログラムの概要

本プログラムは、都市情報学部の 1 年生を対象に実施し、早期実践経験による学生の創造意欲向上を目指すものです。

■これまでの流れ

プログラムは 6 月に始動。受講を希望した約 30 人の学生が、市職員からの現状説明、福島茂教授をはじめ教員からの先進事例や考え方に関するレクチャー、現地でのフィールドワーク調査等を踏まえて、地域や市から出されたお題「あなたが考える美濃加茂市 理想の駅まちづくり」に対する理解を深めました。

8 月からは 6 チームに分かれ、新型コロナ感染拡大の影響を受けてオンラインでグループワークを実施。今年度は地域課題解決イベントを行う大手企業社員や公務員などからなるプロボノ団体「WAKASAMI*」からデザイン思考を学び、そのフレームに沿って、ターゲットとなるペルソナを設定し、理想の駅まちづくりに向けた課題抽出や解決アイデアの提案に取り組みました。

学内での中間報告とブラッシュアップを経て、今回はその成果を伊藤誠一市長に報告します。



美濃加茂市でのフィールドワークの様子



福島茂教授からのレクチャーの様子

【提案内容のターゲットと問い（テーマ）】

- A 観光客：観光客を 2 倍に増やすにはどうしたらよいか？
- B 若者：美濃太田駅南口の若者を、今の 2 倍に増やすには？
- C 挑戦したい事業者：ベンチャー企業を増やすには？
- D 事業者：事業を始めやすい環境づくりとは？
- E 子どもが 15 歳以下の家族：子どもから大人まで一日中たのしめるようにするには？
- F 子ども（0～12 歳）と親：子どもと親にとっての過ごしやすいまちは？

※駅まちづくり：市が美濃太田駅周辺地区の再開発と共に、駅周辺の賑わいの創出に取り組んでいることから、美濃太田駅周辺のまちづくりがお題となった。駅まちづくりはその際に生まれた造語。

※WAKASAMI：地域や企業などからお題をいただき、デザイン思考を用いて課題解決イベントを行っている。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施いただいた。

日時	2021 年 11 月 11 日（木） 16：30～18：00（予定）
集合場所	岐阜県美濃加茂市生涯学習センター 201 集会室
スケジュール（予定）	16：30～ オープニング・プログラムの概要説明 16：45～ 各グループからのプレゼンテーション 17：45～ 美濃加茂市長、美濃加茂市職員からの講評
問い合わせ先	事前連絡先：名城大学都市情報学部事務室 052-832-1151（内 2234）担当：可徳 美濃加茂市経営企画部企画課 0574-25-2111（内 336）担当：河地 当日担当者携帯：080-6909-5175（名城大学広報課 川崎）

取材の際は、自社腕章をご持参ください。本リリースは、名城大学広報課及び美濃加茂市秘書広報課よりそれぞれ配信しています。